

特定課題研修:相談支援

福祉的な課題が複雑化する中で、相談支援における包括的アプローチの重要性がさらに認識されているところです。

本研修では、相談援助に専門的に従事している方を対象に、専門職としての相談支援のスキルや、インボラントな対象者への関わり方など、具体的で分かりやすい事例を踏まえながら、実践場面で使える手法を、体験的に学んでいきます。

昨年度も大変好評を頂いた講義・演習の第2弾です。ぜひ、ご参加ください。

日時	平成29年8月21日～22日	10時～16時
会場	いわて県民情報交流センター アイーナ	803会議室
受講料	無料	
申込方法	別紙「受講申込書」にてお申し込みください	
	申込期限 8月8日(火)	

研修プログラム

8月21日(月)

【講義・グループワーク】

対象者理解や地域を基盤とした相談援助職としての包括的アプローチについて学ぶ。併せて、社会資源の活用や他職種との連携なども含めた地域における相談援助職の実践手法を学ぶ。

8月22日(火)

【講義・グループワーク】

1日目の講義を踏まえ、困難事例等に関する事例検討を行う。
ロールプレイなどを通して具体的な支援の手法を実践的に学ぶ。

<講師紹介>

溝渕 淳 氏 広島文教女子大学人間科学部人間福祉学科准教授



龍谷大学社会学部社会学科～龍谷大学大学院社会学研究科博士後期課程社会福祉学専攻。吉備国際大学社会福祉学部福祉ボランティア学科助手、広島文教女子大学人間科学部人間福祉学科専任講師を経て現職。

主な共著書に『77のワークを学ぶ対人援助ワークブック』(久美 2003)、『ソーシャルワークと生活支援方法のトレーニング』(中央法規 2005)、『ソーシャルワーク実践と支援科学－理論・方法・支援ツール・生活支援過程－』(相川書房 2009)、『相談援助セミナー』(建帛社 2012)、『福祉・栄養・看護のための社会福祉論』(建帛社 2016)がある。